

研究名： 顔認知課題における瞳孔径変化から、自閉症スペクトラム症の注意機構を検討する研究

1．研究の目的

自閉症スペクトラム障害は症状により診断されており、診断や状態評価のための有用な指標がありません。過去の研究結果から、覚醒や注意の維持を担うノルアドレナリンニューロンの活動性と瞳孔径が、連動して変動することが明らかとなっています。本研究は、アイトラッカーにより瞳孔径の変化を捉え、自閉症スペクトラム障害を持つお子様の、課題遂行時の精神的努力や覚醒度の変化、注意を向ける対象やその程度を定型発達のお子様と比較することで、自閉症の病態を理解することを目的としています。さらには、診断や状態評価に有用な指標として用いることができるか、検討することです。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2018年1月～2021年1月までに自閉症スペクトラム障害と診断された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月

研究方法：上記の研究対象者の方に、経時的に瞳孔径を測定することのできるアイトラッカーを用いて、いくつかの顔認知課題（パソコン上に次々と提示される画像を見ていただく）を診療の中で行いました。この課題を行なっている最中の瞳孔径の変化と診療で得られた情報（年齢・性別）を後方視的に収集し、解析を行います。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、課題中の瞳孔径と注視部位のデータ等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター（責任者：室伏 佑香）

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、6月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 神経内科 室伏 佑香

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7654）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 神経内科 室伏 佑香